

# 大学の授業をデザインする (第11回)

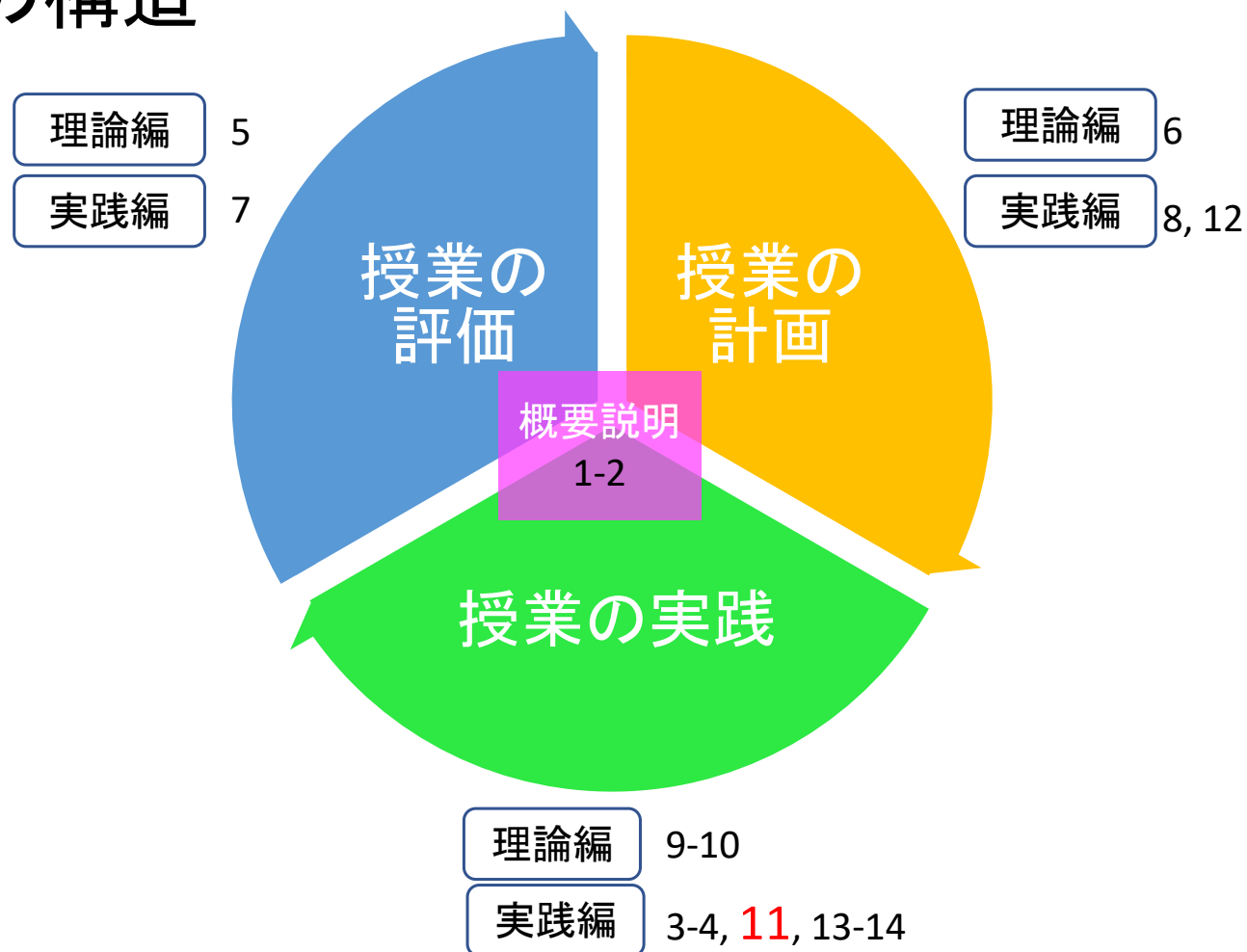
九州大学未来人材育成機構  
長沼祥太郎



## 11. 多様な授業方法の体験（実践編）

内容	時間	授業形態	備考
概要説明	10分	説明	
体験1：反転授業	20分	グループワーク	
体験2：ジグソー法	30分	グループワーク	
体験3：SPS	10分	ペアワーク	
まとめ	10分	説明	

# この授業の構造



# この時間のキーワード

---

- ジグソー法
- 反転授業
- シンク・ペア・シェア
- (活動システムモデル)
- ピアインストラクション

# この時間の目標

---

1. 4つの授業の実施方法について、自分の言葉でわかりやすく説明できる
2. 他の授業と比較しての特徴を整理できる

## 復習

# ① ジグソー法

1

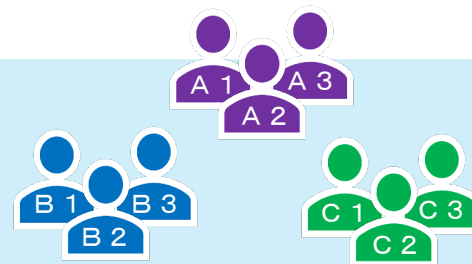


課題を受け取り、個人で答えを書く

2

### エキスパート活動

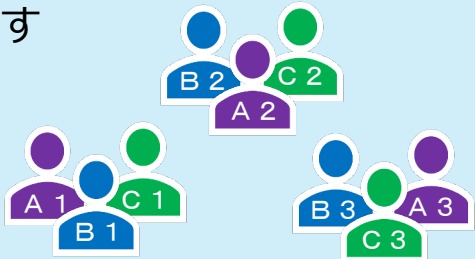
同じ教材について話し合い、  
理解を深める



3

### ジグソー活動

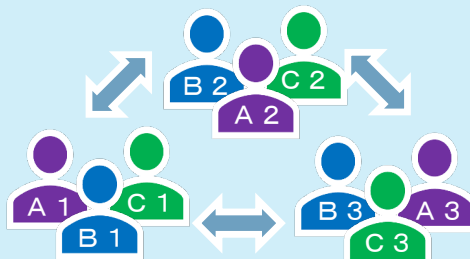
②で学んだことを教え合い、  
課題に対する答えを導き出す



4

### クロストーク

全体で意見交換を行う



5



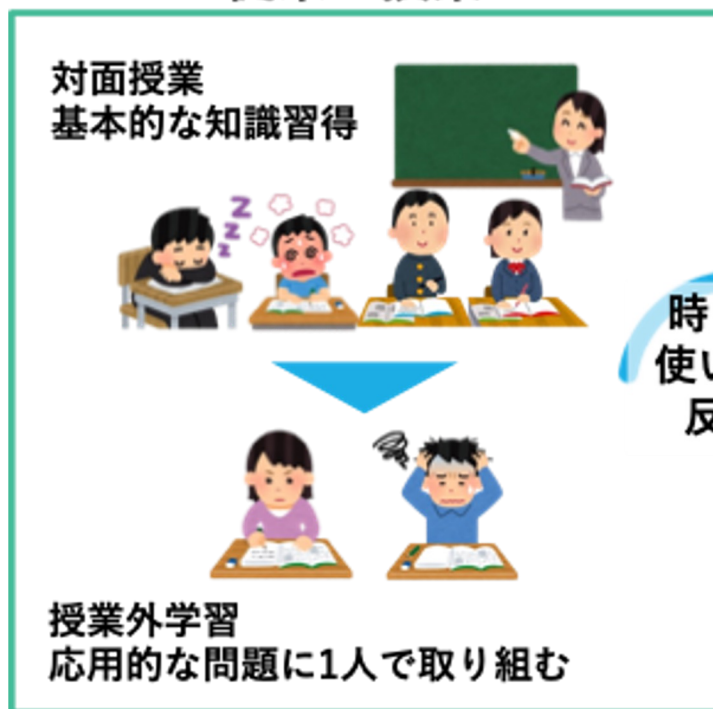
個人で課題に対する答えを  
まとめる

\* 1と5は省略される場合もある

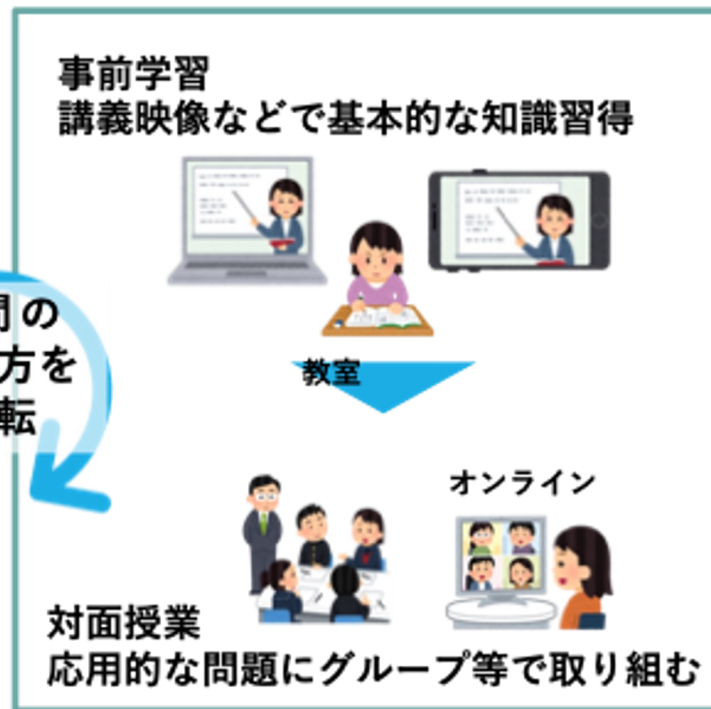
## ②反転授業

- 学習者が授業前に教授的な意図をもって設計された活動に取り組んだ後に、授業中に理解の定着や応用・発展を意図された活動へ取り組む授業形態。

### 従来の授業



### 反転授業

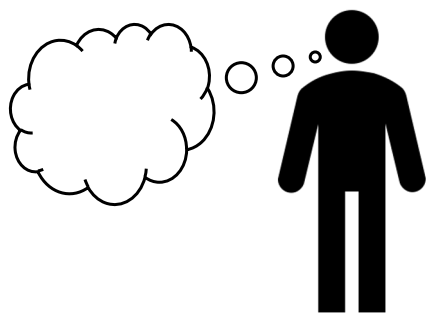


時間の  
使い方を  
反転

## 復習

### ③ シンク・ペア・シェア

- シンク・ペア・シェア（Think-Pair-Share）は、協同学習の技法の一つ
- 多くの協同学習に共通する基本的な構造が、グループ活動における「課題明示→個人思考→集団思考」の流れ
- シンク・ペア・シェアは、この基本構造に依拠した最も簡単な技法として知られる。



Think

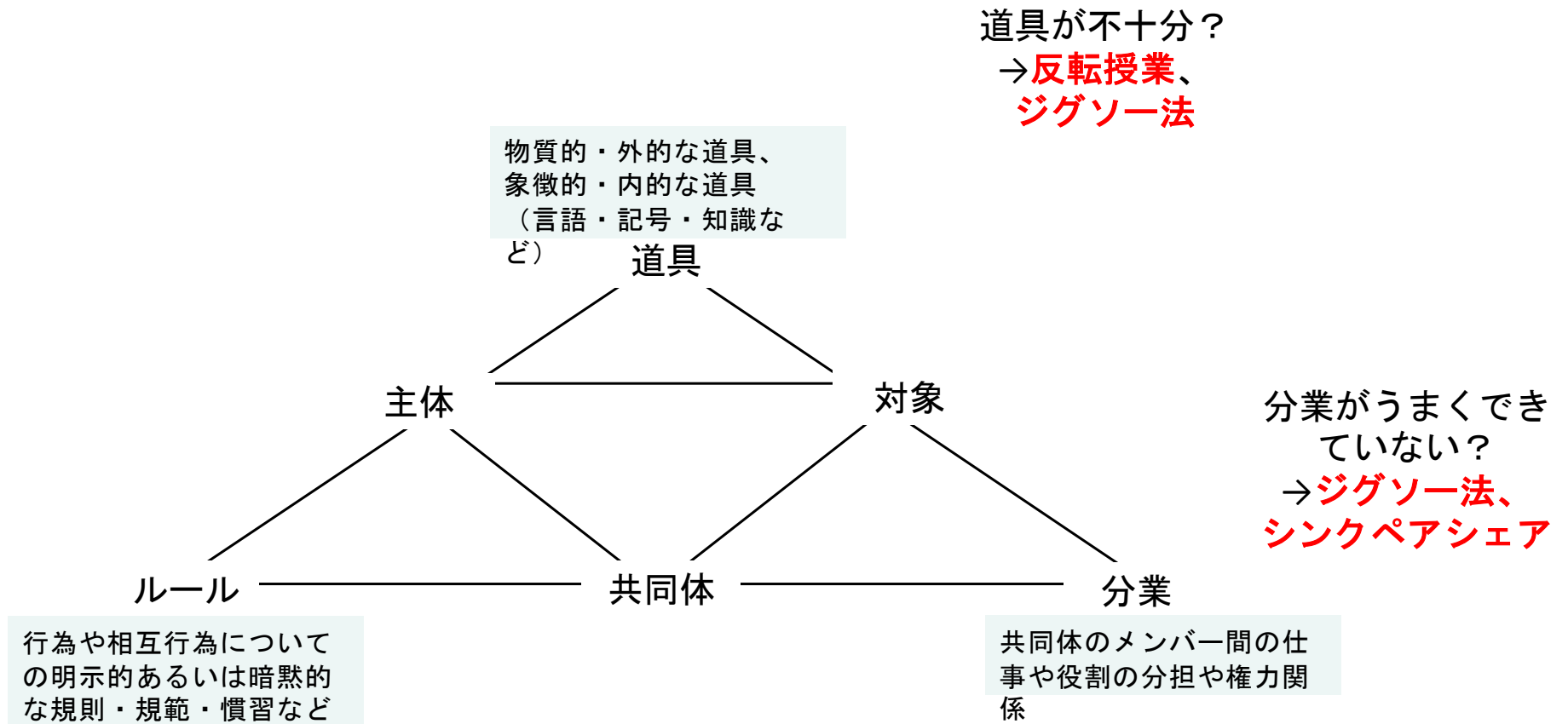


Pair



Share

# 活動システムモデルとAL



# 課題1 反転授業を体験する

1. 3人ずつのグループに分かれてください。
2. そのグループで、前回学習した「ジグソー法」「反転授業」「シンク・ペア・シェア」の特徴について、Sさんがあやふやな理解でまとめた表を見てください

3. **資料を見ずに、** グループメンバーの記憶と理解を元に、間違いを特定し、正しい表現に修正してください。

- Google Documentを配布しますので、みんなで同時に編集すると進めやすいと思います。
- 自分たちのグループが一通り終わったら、他のグループのを見てもok！！

## 配布資料1：Sさん作成

	ジグソー法	反転授業	シンク・ペア・シェア
必要な時間数 (セッション数、 授業数)	1コマの中で不可能	1コマの中で可能	1コマの中で可能
クラスサイズ (大、中、小)	～大人数	～大人数	～小人数
分野	様々な教科	理系分野のみ	様々な教科
教員の役割	予習用動画の作成	課題の分割	話し合う課題を与える
ICT利用 (要/不要)	不要	不要	不要

# 間違いは赤字

	ジグソー法	反転授業	シンク・ペア・シェア
必要な時間数 (セッション数、 授業数)	1コマの中で不可能	1コマの中で可能	1コマの中で可能
クラスサイズ (大、中、小)	～大人数	～大人数	～小人数
分野	様々な教科	理系分野のみ	様々な教科
教員の役割	予習用動画の作成	課題の分割	話し合う課題を与える
ICT利用 (要/不要)	不要	不要	不要

# 正しくはこちら

	ジグソー法	反転授業	シンク・ペア・シェア
必要な時間数 (セッション数、 授業数)	1コマの中で可能	授業外学習+1コマ	1コマの中で可能
クラスサイズ	~大人数	~大人数	~大人数
分野	様々な教科	様々な教科	様々な教科
教員の役割	課題の分割	予習用動画の作成	話し合う課題を与える
ICT利用 (要/不要)	不要	動画	不要

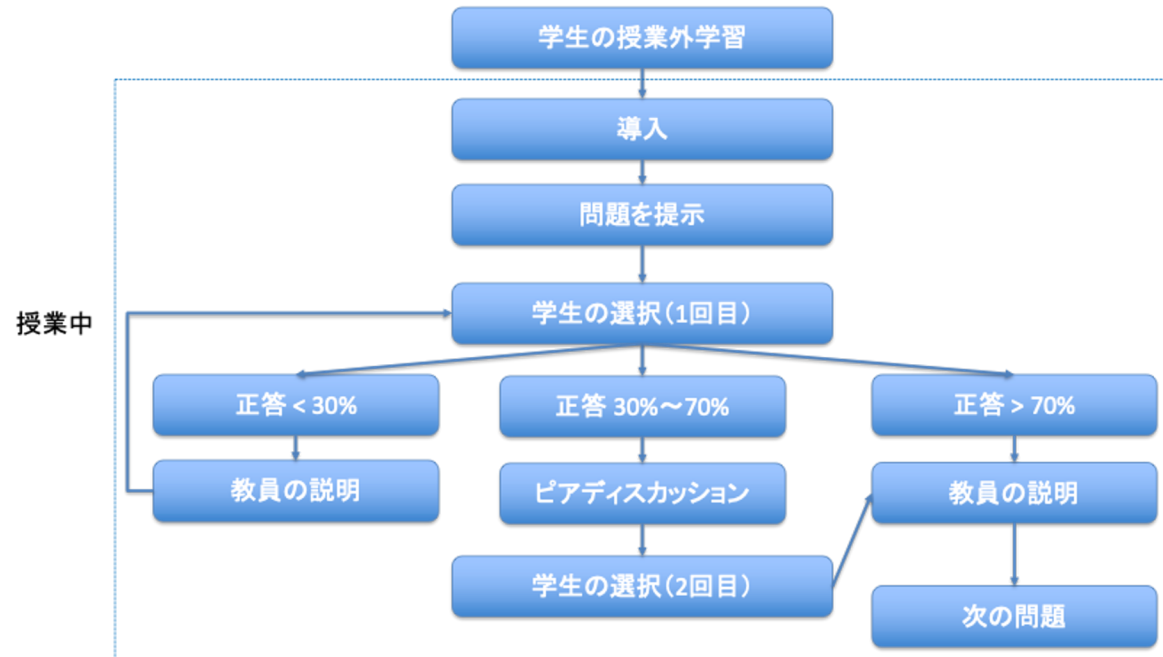
## 課題2 ジグソー法を体験する

- 今から、前回の動画で学習した「ジグソー法」「反転授業」「シンク・ペア・シェア」以外の方法として、「ピアインストラクション」について学びます
1. 先ほどと同じグループです。「ピアインストラクション」「ConcepTest」「Learning Catalytics」それぞれの担当を一人ずつ決めてください。
  2. エキスパートグループへ向かい、それぞれについて学んでください（計分15）
    - 字幕を使って良いです
    - 自分で読む、動画を見る（7分）
    - お互いの理解を簡単に確認（8分）
  3. 元のグループに戻り、自分が学習したことをメンバーに伝えてください
  4. 教育経験の浅い“Kyutaroさん”向けのスライド資料（max 2枚）を作ってください
    1. 彼は、ピアインストラクションという言葉聞いたことはありますが、よくわかっていません
    2. ピアインストラクションの流れと、それが彼の100人で行っている数学の授業で使えるのか知りたいです
    3. ピアインストラクションのツールでよいものがあればそれと、質の高いピアインストラクションを行う方法を知りたいです
  6. グループ内でプレゼンの練習をしてみてください

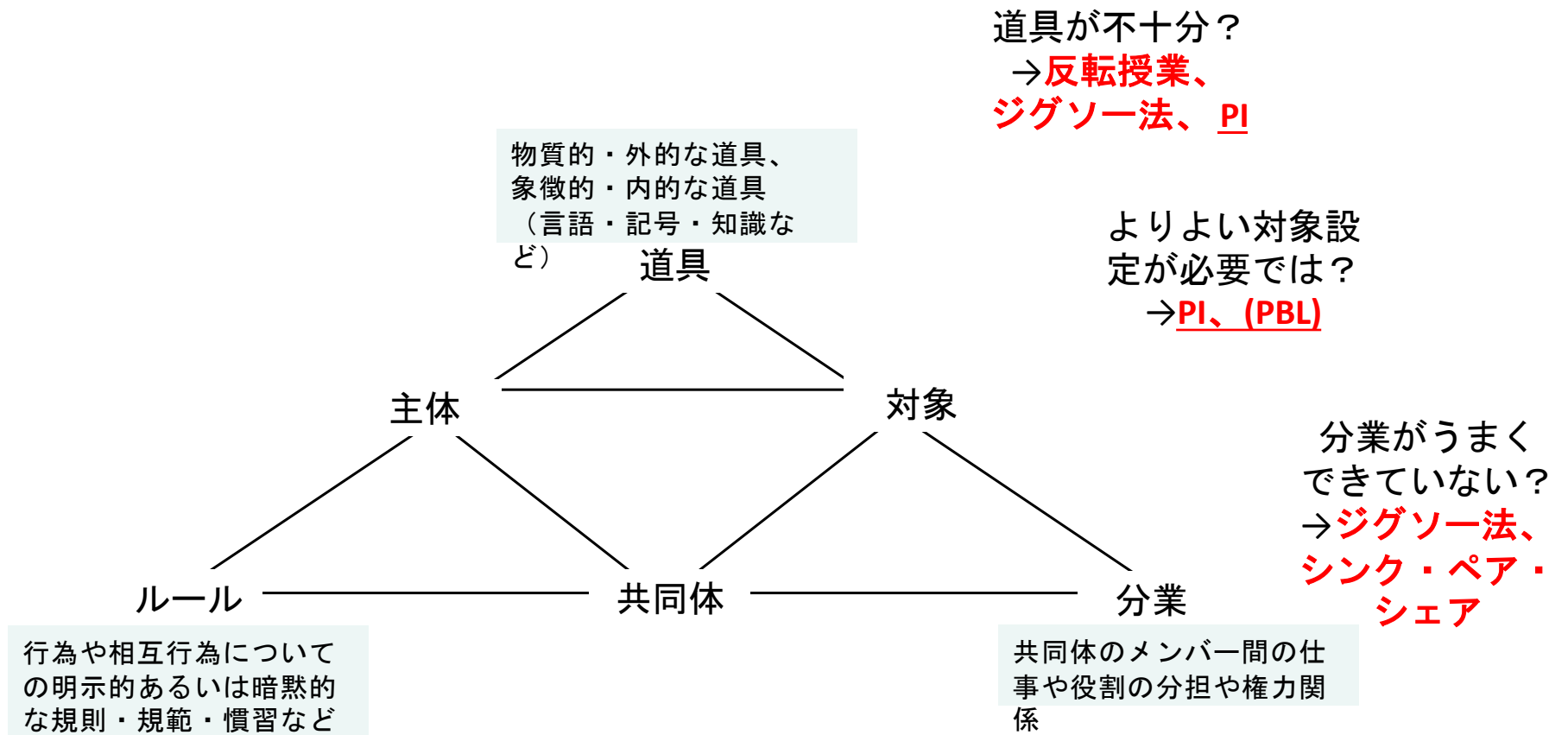
Moodleにgoogle  
slieをおいてい  
ます

## 課題3 シンク・ペア・シェアを体験する

1. 下図を見て、まずは一人で質問を考えてください
2. ペアになって、質問を共有し、良さそうな質問1つに絞ってください
3. 教室全体でシェアします



# 参考：活動システムモデルとAL



## まとめ：様々な授業方法の特徴

	シンク・ペア・シェア	ジグソー法	PI	反転授業
必要な時間数	一コマの中で可能	一コマの中で可能	一コマの中で可能	授業外学習+1コマ
規模	～大人数	～大人数	～大人数	～大人数
教科	様々な教科	様々な教科	様々な教科	様々な教科
教員の役割	話し合う課題を与える	課題の分割	課題の作成、説明の準備	予習用動画の作成
ファシリテータ	不要	不要	不要	不要
ICT利用	不要	不要	LC	動画

自分の授業に合った方法を選択できるように、様々な授業方法及びその特徴を知っておこう。